

# やさしさに感謝

H27年度 「1年生 体験型安全教室」特集号

## 自分の命を守るために

9月2日に1年生対象の安全教室を実施しました。これは大人の補助が多いほど学びの体験効果があるので「一小的防犯学習の取り組みをこの機会に見てください」と声掛けをして、地域の団体からもご参加いただきました。（新津中央コミュニティ協議会、セーフティスタッフ、秋葉区更生保護女性会など）子どもたちは大勢の大人が来てくれたことで、遊びじゃなく本気で取り組まないといけない事を理解し、真剣に体験していました。ぜひご家庭でも今回の学びを振り返り、子どもさんと一緒に<安全な道>やく逃げ込める店>などの再確認をしてください。

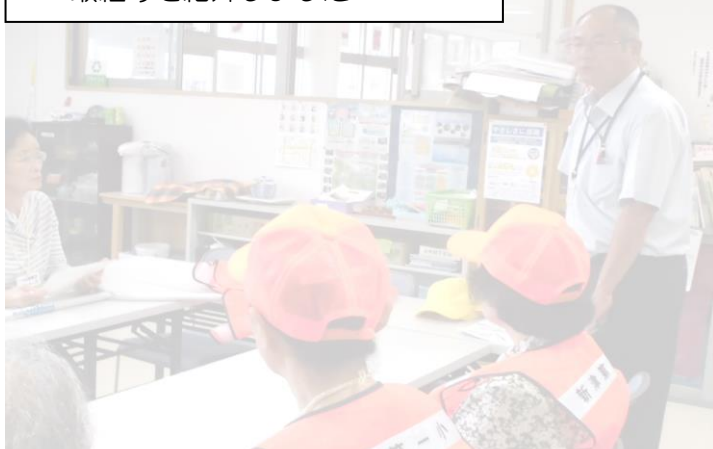


### 体験型安全教室 とは

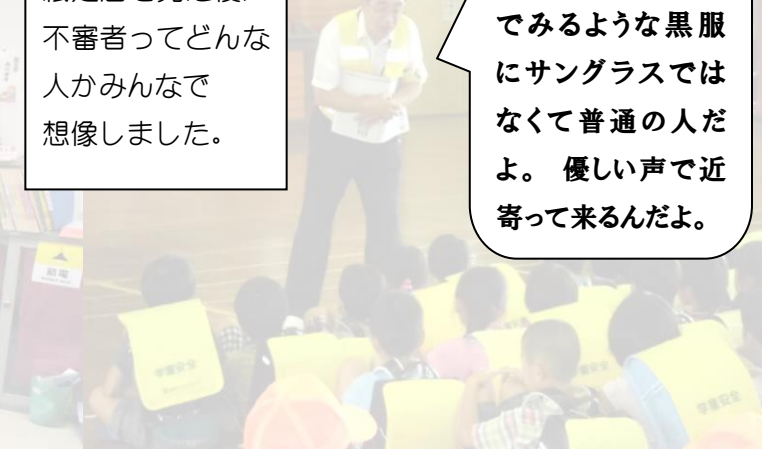
誘拐などの危険に体時した時に、自己判断で危険回避できる反射神経を、疑似体験を通して身に付けることが目的です。

新潟市では安心・安全推進室が市内全校の1年生を対象に実施中。専門の指導員とその学校のボランティアの補助があって実現できるものです。

① 教頭より一小全体の防犯学習の取り組みを紹介しました。

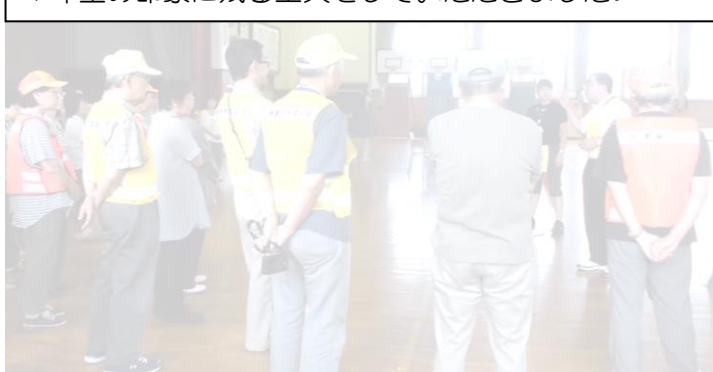


③ 分かりやすい紙芝居を見た後、不審者ってどんな人かみんなで見学しました。



怖い人はマンガでみるような黒服にサングラスではなくて普通の人だよ。優しい声で近寄って来るんだよ。

② 体育館に移動し、まずボランティアさんが説明を受けました。それぞれが所属する防犯防災の衣装を着て1年生の印象に残る工夫をしていただきました。



④ 1対1で向かい合って手を伸ばし、互いに届かない<安全な距離>を体で覚えました。



「30名もボランティアさんが集まるなんて一小が最高記録です。」と指導員に褒められました。



うわ、すごいよー！  
これならつかまらないね。  
知らない人とは近づきすぎない  
ことって大事なんだね。



⑤「自分を守る風船（安全な距離）」  
を確かめた後は、アラームやホイッスル  
を実際に鳴らしたり、大声で「助け  
てー」と叫んだりしながら「ランドセル  
を脱いで」最寄りの安全な場所に  
逃げ込む練習をしました。みんな真剣  
なまなざしで、大変よくできました。



⑥ 大人はアンケート記入で終了です。

<ボランティアさんの声> ご協力ありがとうございました (地域 19 名 ・ 1 年保護者 11 名)

- このようなすばらしい取り組みは保護者全体で参加した方がよい。家庭での関心も深まるだろう。
- 去年もお手伝いしたが、今年は大人が多くて盛り上がった。これだけ多くの地域や保護者が見守っていることが1年生にもよく伝わったと思う。
- 1回で終わらずに、複数回経験させたほうが良いと思う。多少内容を変えて<6年間に数回>体験して、体で覚えさせるなど。
- 「保護者と地域を巻き込んだ安全教室」はとても良いと思った。朝の登校時だけでなく、「下校時の見守り」も大事だと分かった。
- 1年保護者全員と一緒に体験してもらえたらもっと良かった。子どもの学びも知れるし、親子で具体的に話し合うこともできるから。(自分の近所の「こども110番の店」の確認など)
- 昔と違って現代はこのような訓練が必要なのだと分かった。なんだか少し悲しい感じがした。「こども110番の店」が本当に機能しているかが心配。地域との連携が必要だと思った。

